

## アンケート調査からみた経営概況

数値については、小数点第2位を四捨五入して表記しているため、DIを算出すると±0.1ポイントの範囲で差異の生じるものがある。

### 1 経営者の景況感と今後の景気見通し（集計表P28、29参照）

#### 現在の景況感

自社業界の景気について、「好況である」とみる企業は2.0%、「不況である」とみる企業は67.7%で景況感DI（「好況である」-「不況である」の企業割合）は65.7となり、前期（65.8）に比べて0.1ポイント上昇し、微増ではあるが5期連続で改善した。

#### 業種別にみると・・・

##### 製造業

景況感が「好況である」とみる企業は2.6%、「不況である」とみる企業が69.7%で、景況感DIは67.1となった。前期（64.9）に比べて2.2ポイント下落した。

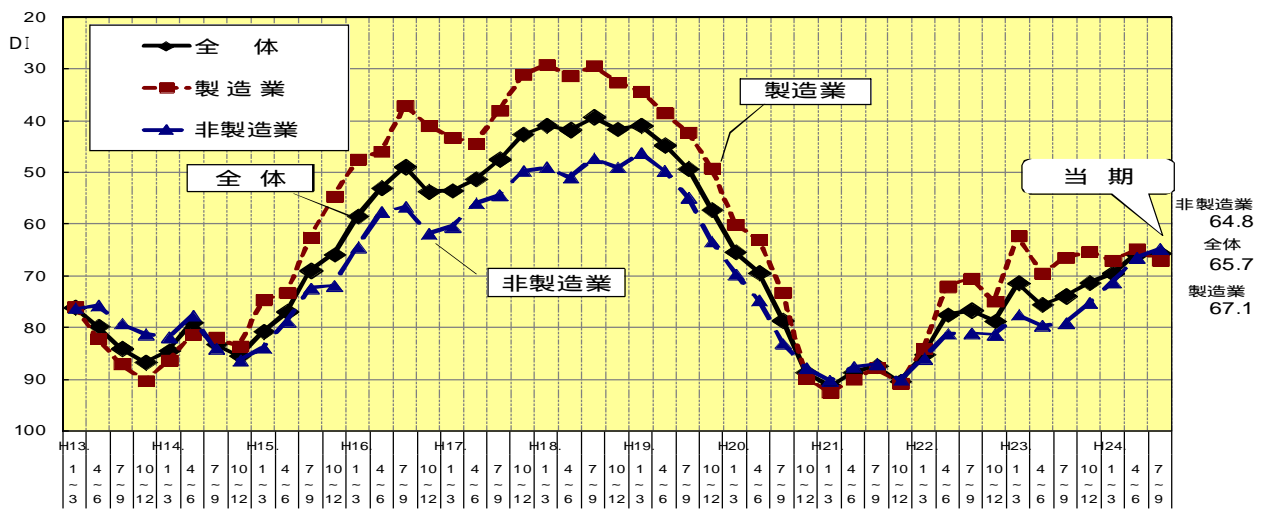
業種別にDI値をみると、「輸送用機械器具」が48.1で11業種中最も高い水準となったが、前期に比べて6.6ポイント下落した。一方、「印刷業」は2期連続で改善したが、81.3となり、5期連続で11業種中最も低い水準となった。

##### 非製造業

景況感が「好況である」とみる企業は1.6%、「不況である」とみる企業が66.3%で、景況感DIは64.8となった。前期（66.5）に比べて1.7ポイント上昇した。

業種別にDI値をみると、「建設業」が4期連続で改善し、前期に比べて9.7ポイント上昇した。

#### 景況感DIの推移



#### 今後の景気見通し

今後の景気見通しについて、「良い方向に向かう」とみる企業は3.8%で、前期（4.3%）に比べて0.5ポイント減少した。「悪い方向に向かう」とみる企業は40.7%で、前期（37.1%）に比べて3.6ポイント増加し、「どちらともいえない」とみる企業は55.4%で、前期（58.5%）に比べて3.1ポイント減少した。

業種	時期	良い方向に向かう	どちらともいえない	悪い方向に向かう
全体	前期	4.3%	58.5%	37.1%
	当期	3.8%	55.4%	40.7%
製造業	前期	5.3%	59.4%	35.2%
	当期	3.9%	58.7%	37.4%
非製造業	前期	3.7%	57.9%	38.4%
	当期	3.8%	53.2%	43.1%

## 景況感DIの推移

単位：DI

業 種	H23. 7～9月期	10～12月期	H24. 1～3月期	4～6月期	7～9月期 (当期)	対前期 増 減
<b>全 体</b>	73.9	71.4	69.5	65.8	65.7	0.1
<b>製 造 業</b>	66.4	65.3	67.0	64.9	67.1	2.2
食料品	75.0	65.3	56.5	51.7	55.0	3.3
繊維工業	63.8	70.0	68.5	75.5	80.7	5.2
家具・装備品	69.4	68.0	56.8	54.5	64.3	9.8
パルプ・紙・紙加工品	74.5	79.2	80.7	77.2	79.7	2.5
印刷業	89.8	85.1	85.2	84.3	81.3	3.0
プラスチック製品	56.5	65.4	70.5	64.2	60.3	3.9
鉄鋼業・非鉄金属	71.4	76.1	71.4	74.1	72.9	1.2
金属製品	60.9	57.1	66.1	61.8	70.4	8.6
電気機械器具	66.7	67.9	77.8	69.4	72.7	3.3
輸送用機械器具	31.8	34.6	45.5	41.5	48.1	6.6
一般機械器具	65.5	55.4	56.5	58.7	50.0	8.7
<b>非 製 造 業</b>	79.1	75.2	71.2	66.5	64.8	1.7
<b>建 設 業</b>	83.5	78.9	78.8	70.9	61.2	9.7
総合工事業	90.2	85.4	80.4	72.9	57.4	15.5
職別工事業	85.4	69.6	77.0	67.9	59.6	8.3
設備工事業	76.3	81.0	79.1	71.9	66.1	5.8
<b>卸 売 ・ 小 売 業</b>	78.9	76.9	72.4	69.1	70.8	1.7
(卸売業)	77.5	77.1	69.3	64.0	67.9	3.9
繊維・衣服等	94.4	88.0	81.5	70.0	73.1	3.1
飲食料品	68.0	71.4	53.6	53.3	57.1	3.8
建築材料・鉱物・金属材料等	74.1	77.4	63.3	65.4	80.0	14.6
機械器具	77.8	72.4	72.7	62.9	62.5	0.4
その他	78.3	77.8	75.0	72.0	69.2	2.8
(小売業)	80.1	76.6	75.1	73.1	73.1	0.0
繊維・衣服・身の回り品	93.9	83.8	88.1	81.4	74.4	7.0
飲食料品	70.3	76.3	66.7	59.6	70.2	10.6
機械器具	71.4	70.7	66.7	68.3	69.0	0.7
その他	86.1	76.3	80.5	84.1	79.1	5.0
<b>飲 食 店</b>	83.7	70.5	63.3	63.3	68.3	5.0
<b>情 報 サ ー ビ ス 業</b>	79.6	71.7	51.9	64.3	57.4	6.9
<b>運 輸 業</b>	65.2	52.9	57.7	52.5	46.3	6.2
<b>不 動 産 業</b>	84.1	70.6	64.9	76.5	72.2	4.3
<b>サ ー ビ ス 業</b>	76.4	79.0	74.5	61.8	62.8	1.0
専門サービス業	75.5	81.5	71.9	66.1	62.1	4.0
洗濯・理美容・浴場業	73.2	77.5	74.5	66.7	62.2	4.5
その他生活関連・娯楽業	81.0	82.0	77.4	55.0	58.3	3.3
その他の事業サービス業	76.1	73.8	74.5	61.0	69.1	8.1

## 2 売上げについて（集計表P30、31参照）

### 当期（平成24年7～9月期）の状況

前期と比べ、売上げが「増加した」企業は15.4%、「減少した」企業は43.8%で、売上げDI（「増加した」・「減少した」企業の割合）は28.4となった。

前期（21.5）に比べて6.9ポイント下落し、2期ぶりに悪化した。

### 業種別にみると・・・

#### 製造業

売上げが「増加した」企業は15.7%、「減少した」企業は47.1%で、売上げDIは31.4となった。前期（22.0）に比べて9.4ポイント下落した。

業種別にDI値をみると、「パルプ・紙・紙加工品」が前期に比べて30ポイント以上下落した。また、「輸送用機械器具」は、前年同期（37.8）をピークに4期連続悪化した。

#### 非製造業

売上げが「増加した」企業は15.1%、「減少した」企業は41.4%で、売上げDIは26.3となった。前期（21.2）に比べて5.1ポイント下落した。

業種別にDI値をみると、7業種中「建設業」、「情報サービス業」、「運輸業」及び「不動産業」の4業種が前期を10ポイント以上上回った。

対前年同期では7業種中「卸売・小売業」と「飲食店」の2業種以外は上回り、特に「情報サービス業」は20ポイント以上上回った。

### 来期（平成24年10～12月期）の状況

当期と比べ、売上げが「増加する」見通しの企業は22.3%、「減少する」企業は30.8%で、来期の売上げDIは8.5と見込まれている。

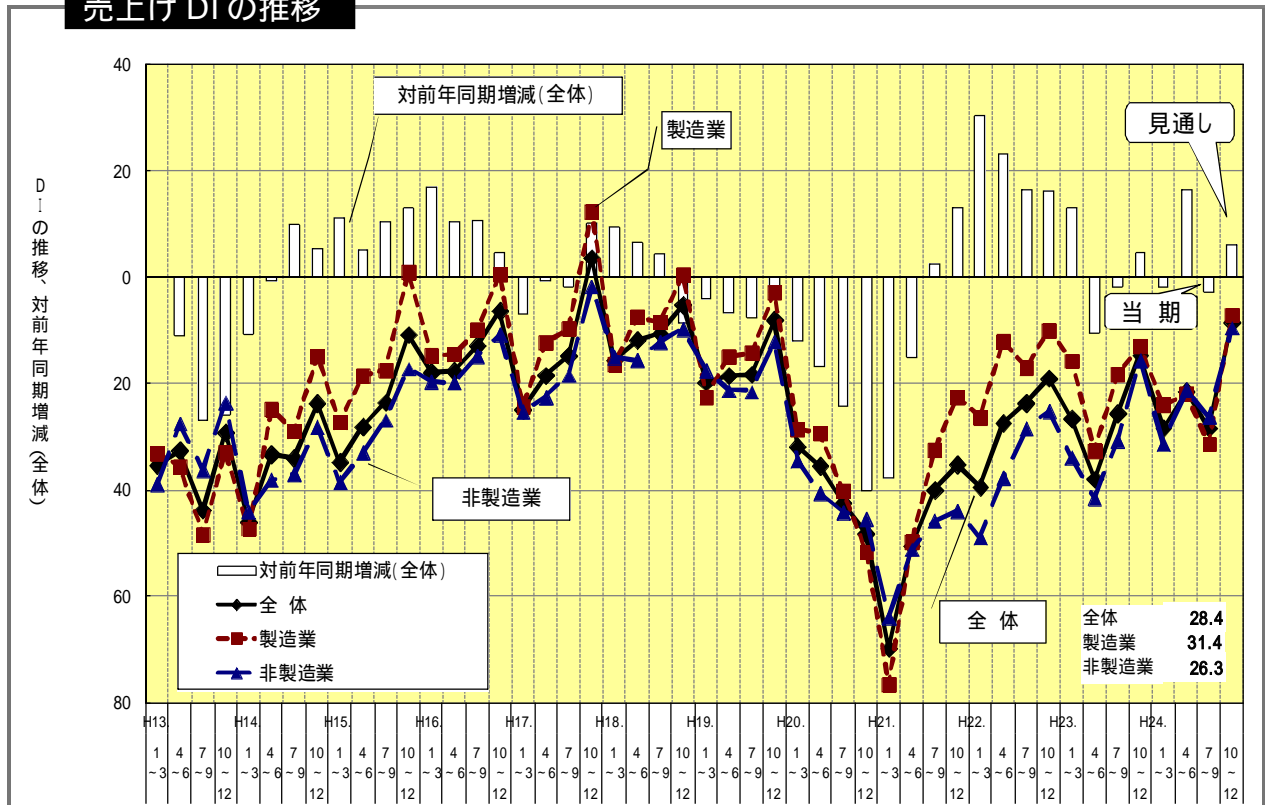
当期と比べ、改善する見込みである。

### 業種別にみると・・・

製造業の来期の売上げDIは7.1で、当期に比べ20ポイント以上改善する見通しである。

非製造業の来期の売上げDIは9.5で、当期に比べ15ポイント以上改善する見通しである。

### 売上げDIの推移



## 売上げD Iの推移

単位: DI

業 種	H23. 7~9月期	10~12月期	H24. 1~3月期	4~6月期	7~9月期 (当 期)	増 減		10~12月期 (見通し)
						対前期	対前年 同期	
<b>全 体</b>	25.7	14.6	28.4	21.5	28.4	6.9	2.7	8.5
<b>製 造 業</b>	18.3	12.9	24.0	22.0	31.4	9.4	13.1	7.1
食料品	14.3	6.0	38.7	8.2	13.3	21.5	1.0	3.4
繊維工業	15.2	15.0	13.0	25.0	39.7	14.7	24.5	10.3
家具・装備品	22.2	8.0	20.5	14.3	26.2	11.9	4.0	7.1
パルプ・紙・紙加工品	27.5	9.6	48.3	21.1	54.2	33.1	26.7	6.9
印刷業	63.3	29.8	27.8	37.3	43.8	6.5	19.5	0.0
プラスチック製品	8.9	11.5	19.7	19.2	21.7	2.5	12.8	5.0
鉄鋼業・非鉄金属	40.8	17.4	30.9	32.8	33.3	0.5	7.5	18.3
金属製品	2.2	16.3	16.9	30.9	29.6	1.3	27.4	26.4
電気機械器具	21.7	21.4	20.6	24.2	16.4	7.8	5.3	20.0
輸送用機械器具	37.8	9.6	19.6	20.8	30.8	10.0	68.6	25.5
一般機械器具	16.9	8.8	8.1	25.8	33.3	7.5	16.4	8.3
<b>非 製 造 業</b>	30.8	15.7	31.4	21.2	26.3	5.1	4.5	9.5
<b>建 設 業</b>	28.9	9.7	22.3	27.8	16.3	11.5	12.6	17.5
総合工事業	32.0	14.3	23.6	20.3	11.1	9.2	20.9	36.4
職別工事業	40.0	10.6	25.4	24.6	19.2	5.4	20.8	5.8
設備工事業	16.9	22.4	18.2	37.5	18.3	19.2	1.4	20.3
<b>卸 売・小 売 業</b>	33.7	27.8	38.2	22.6	37.9	15.3	4.2	9.1
(卸売業)	27.5	20.9	27.3	22.1	36.0	13.9	8.5	5.8
繊維・衣服等	55.6	41.7	40.7	25.0	61.5	36.5	5.9	11.5
飲食品	36.0	28.6	25.0	10.0	17.9	7.9	18.1	7.1
建築材料・鉱物・金属材料等	18.5	12.9	16.7	30.8	51.9	21.1	33.4	11.1
機械器具	18.5	10.3	6.1	14.3	9.4	4.9	9.1	18.8
その他	17.4	14.8	50.0	36.0	46.2	10.2	28.8	23.1
(小売業)	38.9	34.2	47.7	23.0	39.5	16.5	0.6	11.8
織物・衣服・身の回り品	32.4	27.0	47.6	34.9	45.0	10.1	12.6	2.6
飲食品	42.1	29.7	50.0	13.0	36.2	23.2	5.9	6.4
機械器具	37.1	40.0	53.3	26.8	40.5	13.7	3.4	26.2
その他	43.2	39.5	39.0	18.2	37.2	19.0	6.0	11.6
<b>飲 食 店</b>	23.8	11.4	26.5	10.2	26.2	16.0	2.4	11.9
<b>情 報 サービス 業</b>	29.1	3.8	20.8	25.0	5.5	19.5	23.6	1.8
<b>運 輸 業</b>	19.6	5.8	28.3	23.7	11.3	12.4	8.3	5.7
<b>不 動 産 業</b>	40.4	18.0	25.9	45.3	32.1	13.2	8.3	17.3
<b>サ ー ビ ス 業</b>	30.5	10.4	35.0	8.7	24.8	16.1	5.7	10.0
専門サービス業	8.2	1.9	23.2	10.7	20.7	10.0	12.5	13.8
洗濯・理美容・浴場業	51.2	20.5	51.0	4.7	22.2	26.9	29.0	4.4
その他生活関連・娯楽業	28.6	12.0	42.0	10.0	26.7	16.7	1.9	3.3
その他の事業サービス業	37.8	14.6	23.5	15.3	29.1	13.8	8.7	25.5

### 3 資金繰りについて（集計表P32、33参照）

#### 当期（平成24年7～9月期）の状況

前期と比べ、資金繰りが「良くなった」企業は6.7%、「悪くなった」企業は33.3%で、資金繰りDI（「良くなった」-「悪くなった」企業の割合）は26.6となった。

前期（20.9）に比べて5.7ポイント下落し、2期ぶりに悪化した。

#### 業種別にみると・・・

##### 製造業

資金繰りが「良くなった」企業は7.5%、「悪くなった」企業は36.5%で、資金繰りDIは29.0となった。前期（22.7）に比べて6.3ポイント下落した。

業種別にDI値をみると、11業種中「鉄鋼業・非鉄金属」、「金属製品」及び「電気機械器具」の3業種が前期を上回った。

対前年同期では、「輸送用機械器具」は30ポイント以上下落し、製造業・非製造業を通じて最も下落幅が大きくなった。

##### 非製造業

資金繰りが「良くなった」企業は6.1%、「悪くなった」企業は31.0%で、資金繰りDIは24.9となった。前期（19.7）に比べて5.2ポイント下落した。

業種別にDI値をみると、7業種中「情報サービス業」、「運輸業」及び「不動産業」の3業種が前期を上回った。

対前年同期では7業種中「卸売・小売業」と「情報サービス業」の2業種のみが下回った。

#### 来期（平成24年10～12月期）の状況

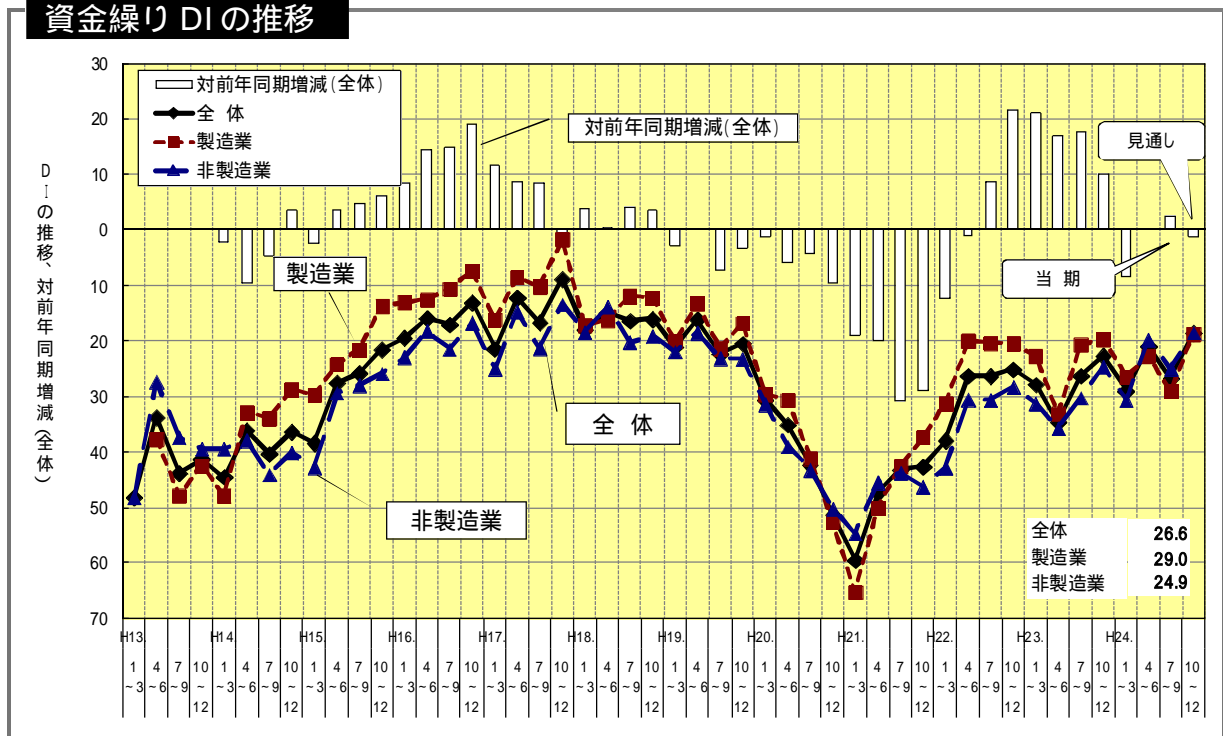
当期と比べ、資金繰りが「良くなる」見通しの企業は8.9%、「悪くなる」見通しの企業は27.4%で、来期の資金繰りDIは18.5と見込まれている。

当期と比べ、改善する見込みである。

#### 業種別にみると・・・

製造業の来期の資金繰りDIは18.7で、当期に比べ10ポイント以上改善する見通しである。非製造業の来期の資金繰りDIは18.4で、当期に比べ5ポイント以上改善する見通しである。

#### 資金繰りDIの推移



## 資金繰りDIの推移

単位: DI

業種	H23. 7~9月期	10~12月期	H24. 1~3月期	4~6月期	7~9月期 (当期)	増減		10~12月期 (見通し)
						対前期	対前年同期	
<b>全体</b>	26.3	22.6	28.9	20.9	26.6	5.7	0.3	18.5
<b>製造業</b>	20.6	19.6	26.5	22.7	29.0	6.3	8.4	18.7
食料品	18.9	22.9	22.8	10.3	13.8	3.5	5.1	6.9
繊維工業	15.2	13.2	23.5	21.6	34.5	12.9	19.3	21.8
家具・装備品	36.4	27.3	29.5	15.4	27.5	12.1	8.9	20.0
パルプ・紙・紙加工品	30.6	24.5	45.6	33.9	42.4	8.5	11.8	22.4
印刷業	45.8	25.5	28.0	31.4	39.7	8.3	6.1	19.0
プラスチック製品	14.0	27.1	25.5	22.6	29.8	7.2	15.8	28.1
鉄鋼業・非鉄金属	26.5	27.3	29.6	33.9	29.3	4.6	2.8	25.0
金属製品	8.7	12.5	25.4	31.5	21.6	9.9	12.9	18.4
電気機械器具	22.8	21.8	20.0	15.3	15.1	0.2	7.7	20.8
輸送用機械器具	2.2	8.2	22.6	15.4	32.0	16.6	34.2	16.7
一般機械器具	11.8	9.4	18.9	16.9	30.4	13.5	18.6	7.0
<b>非製造業</b>	30.2	24.6	30.6	19.7	24.9	5.2	5.3	18.4
<b>建設業</b>	37.6	32.2	36.3	21.2	25.5	4.3	12.1	25.6
総合工事業	39.1	38.6	25.5	16.4	35.3	18.9	3.8	42.9
職別工事業	41.7	22.7	37.9	24.5	21.6	2.9	20.1	17.6
設備工事業	32.7	34.5	43.5	22.8	20.0	2.8	12.7	17.9
<b>卸売・小売業</b>	26.9	28.1	31.3	18.9	29.2	10.3	2.3	19.5
(卸売業)	23.5	26.1	27.7	20.2	33.6	13.4	10.1	20.3
繊維・衣服等	38.9	45.8	50.0	21.1	54.2	33.1	15.3	28.0
飲食料品	8.3	19.2	12.5	11.1	20.0	8.9	11.7	3.8
建築材料・鉱物・金属材料等	38.5	26.7	21.4	20.0	38.5	18.5	0.0	26.9
機械器具	16.0	17.9	12.5	26.5	22.6	3.9	6.6	22.6
その他	18.2	23.1	41.9	20.8	36.0	15.2	17.8	20.0
(小売業)	29.7	29.9	34.3	17.9	25.7	7.8	4.0	18.8
織物・衣服・身の回り品	28.1	27.8	31.7	17.5	35.9	18.4	7.8	8.1
飲食料品	31.4	29.7	43.2	8.5	26.7	18.2	4.7	11.1
機械器具	29.4	39.5	37.2	29.7	27.5	2.2	1.9	37.5
その他	29.7	22.2	23.7	18.2	14.0	4.2	15.7	18.6
<b>飲食店</b>	33.3	24.4	20.4	19.6	31.6	12.0	1.7	0.0
<b>情報サービス業</b>	26.4	8.2	23.1	31.5	27.8	3.7	1.4	9.3
<b>運輸業</b>	33.3	9.8	19.1	28.8	21.2	7.6	12.1	11.5
<b>不動産業</b>	26.7	21.4	27.7	43.5	22.4	21.1	4.3	24.5
<b>サービス業</b>	29.1	22.4	32.7	9.3	18.0	8.7	11.1	17.5
専門サービス業	22.4	16.3	30.0	7.1	20.0	12.9	2.4	23.6
洗濯・理美容・浴場業	39.5	38.5	40.8	0.0	11.6	11.6	27.9	22.7
その他生活関連・娯楽業	22.5	23.4	30.0	10.2	21.1	10.9	1.4	5.4
その他の事業サービス業	33.3	12.8	29.8	16.9	17.6	0.7	15.7	19.6

#### 4 採算について（集計表P 34、35参照）

##### 当期（平成24年7～9月期）の状況

前期と比べ、採算が「良くなった」企業は7.9%、「悪くなった」企業は43.7%で、採算DI（「良くなった」・「悪くなった」企業の割合）は、35.8となった。  
前期（33.0）に比べて2.8ポイント下落し、2期ぶりに悪化した。

##### 業種別にみると・・・

###### 製造業

採算が「良くなった」企業は8.6%、「悪くなった」企業は44.6%で、採算DIは36.1となった。前期（33.8）に比べて2.3ポイント下落した。

業種別にDI値をみると、11業種中6業種が前期を上回った。  
対前年同期では「輸送用機械器具」が45.1ポイント下落した。

###### 非製造業

採算が「良くなった」企業は7.4%、「悪くなった」企業は43.1%で、採算DIは35.7となった。前期（32.5）に比べて3.2ポイント下落した。

業種別にDI値をみると、「建設業」、「情報サービス業」、「運輸業」及び「不動産業」の4業種が前期を上回った。

対前年同期では「卸売・小売業」以外の全ての業種が上回った。

##### 来期（平成24年10～12月期）の見通し

当期と比べ、採算が「良くなる」見通しの企業は10.9%、「悪くなる」見通しの企業は32.1%で、来期の採算DIは、21.2と見込まれている。

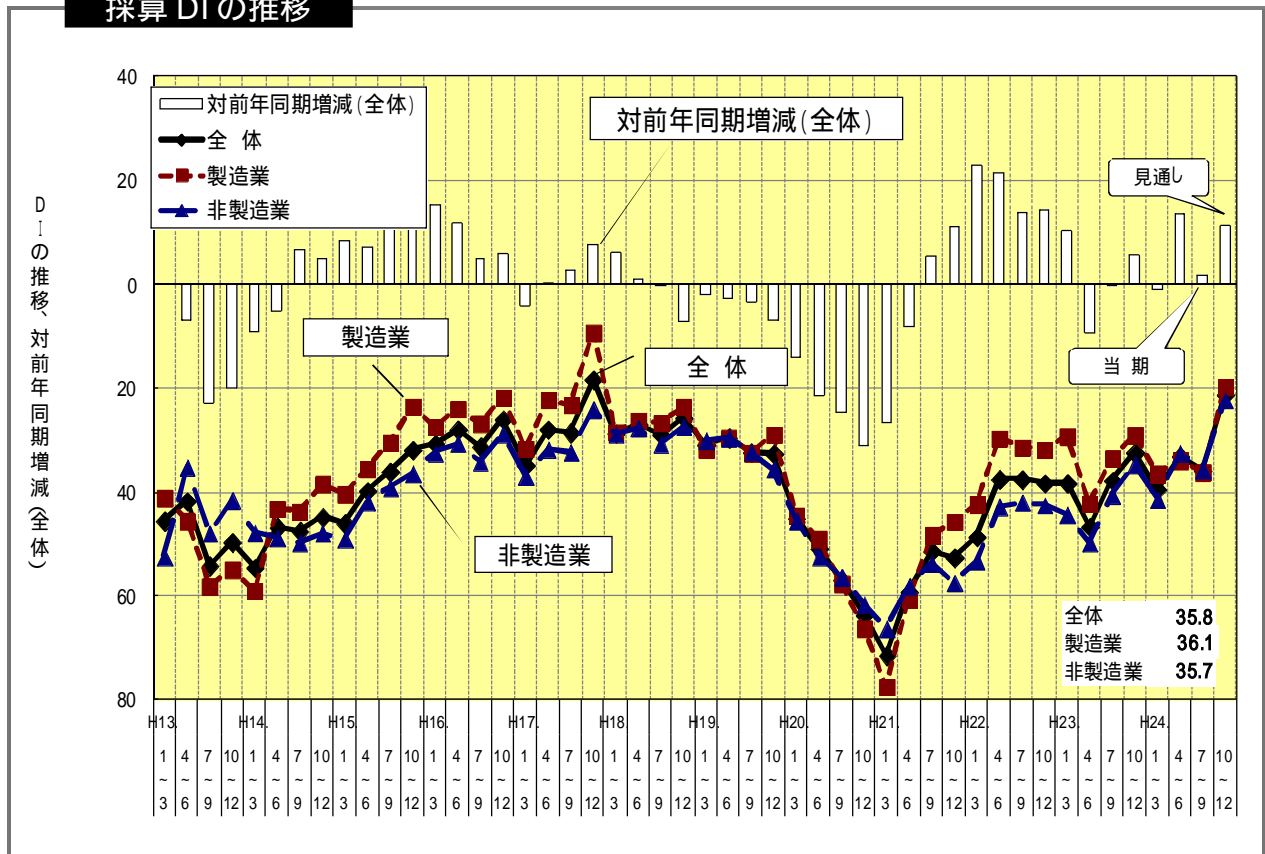
当期と比べ、改善する見通しである。

##### 業種別にみると・・・

製造業の来期の採算DIは19.7で、当期に比べ15ポイント以上改善する見通しである。

非製造業の来期の採算DIは22.2で、当期に比べ10ポイント以上改善する見通しである。

##### 採算DIの推移



## 採算D I の推移

単位: DI

業 種	H23. 7~9月期	10~12月期	H24. 1~3月期	4~6月期	7~9月期 (当 期)	増減		10~12月期 (見通し)
						対前期	対前年 同期	
<b>全 体</b>	37.7	32.4	39.4	33.0	35.8	2.8	1.9	21.2
<b>製 造 業</b>	33.5	28.9	36.4	33.8	36.1	2.3	2.6	19.7
食料品	47.1	26.7	40.4	12.7	24.1	11.4	23.0	5.3
繊維工業	29.8	18.4	25.5	36.5	43.6	7.1	13.8	14.5
家具・装備品	42.4	27.3	38.6	21.1	34.2	13.1	8.2	23.1
パルプ・紙・紙加工品	35.4	30.8	66.7	41.1	53.4	12.3	18.0	24.1
印刷業	58.3	46.8	38.0	52.0	47.6	4.4	10.7	20.6
プラスチック製品	37.2	41.7	37.7	32.7	30.4	2.3	6.8	29.8
鉄鋼業・非鉄金属	42.9	36.4	42.6	40.7	37.9	2.8	5.0	28.6
金属製品	20.5	20.8	28.8	29.6	29.4	0.2	8.9	26.5
電気機械器具	35.7	23.6	28.8	34.4	26.4	8.0	9.3	24.5
輸送用機械器具	11.1	22.4	32.1	30.8	34.0	3.2	45.1	18.4
一般機械器具	28.0	22.6	20.8	37.3	32.1	5.2	4.1	3.5
<b>非 製 造 業</b>	40.6	34.6	41.4	32.5	35.7	3.2	4.9	22.2
<b>建 設 業</b>	47.0	37.3	45.0	33.5	31.0	2.5	16.0	28.7
総合工事業	51.1	44.2	53.8	33.3	38.0	4.7	13.1	44.9
職別工事業	48.9	36.4	43.1	32.7	27.5	5.2	21.4	23.5
設備工事業	41.8	32.7	39.3	34.5	27.8	6.7	14.0	19.3
<b>卸 売 ・ 小 売 業</b>	39.9	38.6	41.6	30.1	42.1	12.0	2.2	25.8
(卸売業)	37.5	39.1	33.8	29.5	45.0	15.5	7.5	24.8
繊維・衣服等	52.9	50.0	50.0	47.4	65.2	17.8	12.3	32.0
飲食品	41.7	46.2	28.0	29.6	29.2	0.4	12.5	23.1
建築材料・鉱物・金属材料等	38.5	41.4	32.1	28.0	61.5	33.5	23.0	23.1
機械器具	34.8	17.9	15.6	20.6	35.5	14.9	0.7	32.3
その他	22.7	42.3	45.2	29.2	36.0	6.8	13.3	12.0
(小売業)	41.9	38.2	48.5	30.5	39.8	9.3	2.1	26.5
織物・衣服・身の回り品	46.9	28.6	47.6	30.0	47.4	17.4	0.5	16.7
飲食品	34.3	44.4	51.2	19.1	37.2	18.1	2.9	15.9
機械器具	42.4	45.9	47.6	36.1	43.6	7.5	1.2	45.0
その他	44.4	33.3	47.2	38.6	31.7	6.9	12.7	28.6
<b>飲 食 店</b>	45.2	31.0	40.8	28.9	39.5	10.6	5.7	0.0
<b>情報サービス業</b>	30.2	16.3	29.4	42.6	26.4	16.2	3.8	7.5
<b>運 輸 業</b>	31.8	33.3	40.4	44.1	26.0	18.1	5.8	11.5
<b>不 動 産 業</b>	43.2	36.4	35.4	51.1	37.5	13.6	5.7	25.5
<b>サ ー ビ ス 業</b>	39.8	32.0	42.7	25.9	33.8	7.9	6.0	22.2
専門サービス業	26.5	12.8	34.7	25.5	36.4	10.9	9.9	29.1
洗濯・理美容・浴場業	44.7	50.0	54.2	11.9	37.2	25.3	7.5	27.3
その他生活関連・娯楽業	45.0	38.3	38.8	22.8	28.6	5.8	16.4	7.1
その他の事業サービス業	45.5	29.7	43.5	39.7	34.0	5.7	11.5	26.9



## 5 設備投資について（集計表P36～41参照）

### 当期（平成24年7～9月期）の状況

当期に設備投資を実施した企業は19.1%で、前期（18.2%）に比べて0.9ポイント上昇し、2期連続で増加した。前年同期（19.4%）比では0.3ポイント減少した。内容をみると、「生産・販売設備」が39.0%で最も高い割合を占め、「車輛・運搬具」が27.5%、「建物（工場・店舗等を含む）」が21.6%で続いている。

目的をみると、「更新、維持・補修」が54.9%で最も高い割合を占め、「生産・販売能力の拡大」が29.6%、「合理化・省力化」が20.4%で続いている。

### 業種別にみると・・・

#### 製造業

設備投資を実施した企業は23.6%で、前期（20.4%）に比べ3.2ポイント増加した。

また、前年同期（26.4%）を2.8ポイント下回った。

11業種中「繊維工業」、「鉄鋼業・非鉄金属」及び「電気機械器具」の3業種が前期を下回った。

設備投資の内容は、「生産・販売設備」が57.9%で最も高い割合を占め、「建物（工場・店舗等を含む）」が22.1%、「車輛・運搬具」が19.3%で続いている。

設備投資の目的は、「更新、維持・補修」が56.6%で最も高い割合を占め、「生産・販売能力の拡大」が31.7%、「合理化・省力化」が26.2%で続いている。

#### 非製造業

設備投資を実施した企業は15.9%で、前期（16.8%）に比べ0.9ポイント減少した。

前期比では、7業種中「卸売・小売業」と「情報サービス業」の2業種が前期を上回った。

設備投資の内容は、「車輛・運搬具」が35.9%で最も高い割合を占め、「情報化機器」が29.6%、「建物（工場・店舗等を含む）」が21.1%で続いている。

設備投資の目的は、「更新、維持・補修」が53.2%で最も高い割合を占め、「生産・販売能力の拡大」が27.3%、「合理化・省力化」が14.4%で続いている。

### 来期（平成24年10月～12月期）の見通し

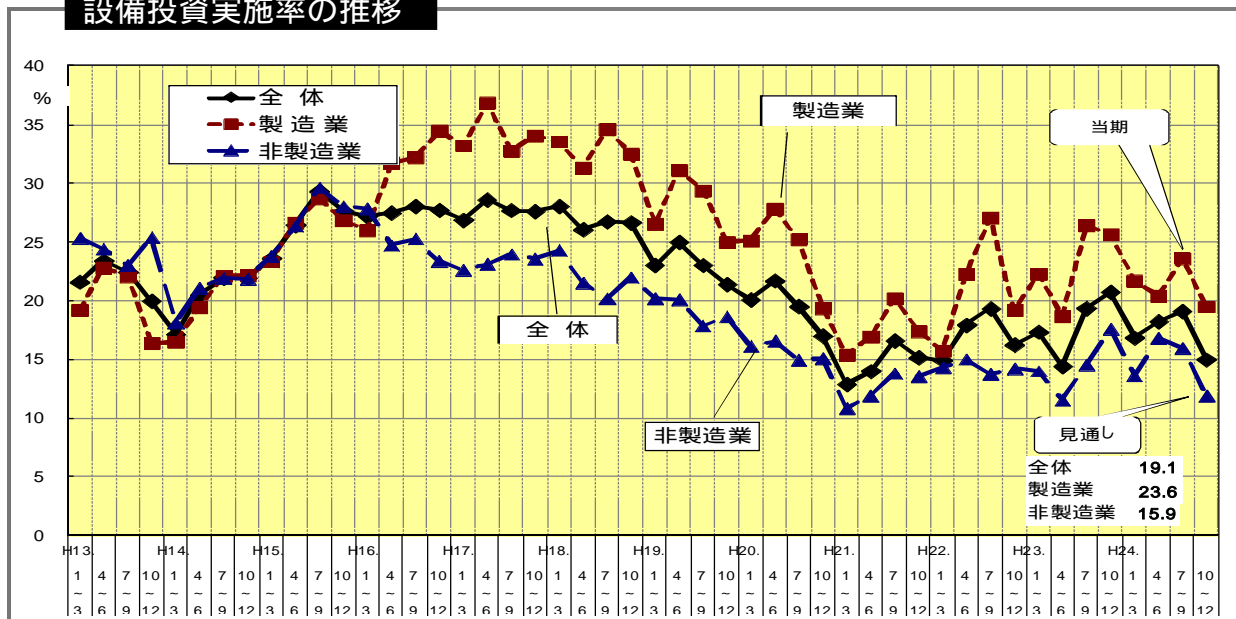
来期に設備投資を実施する予定の企業は15.0%で、当期と比べると4.1ポイント減少する見通しである。

### 業種別にみると・・・

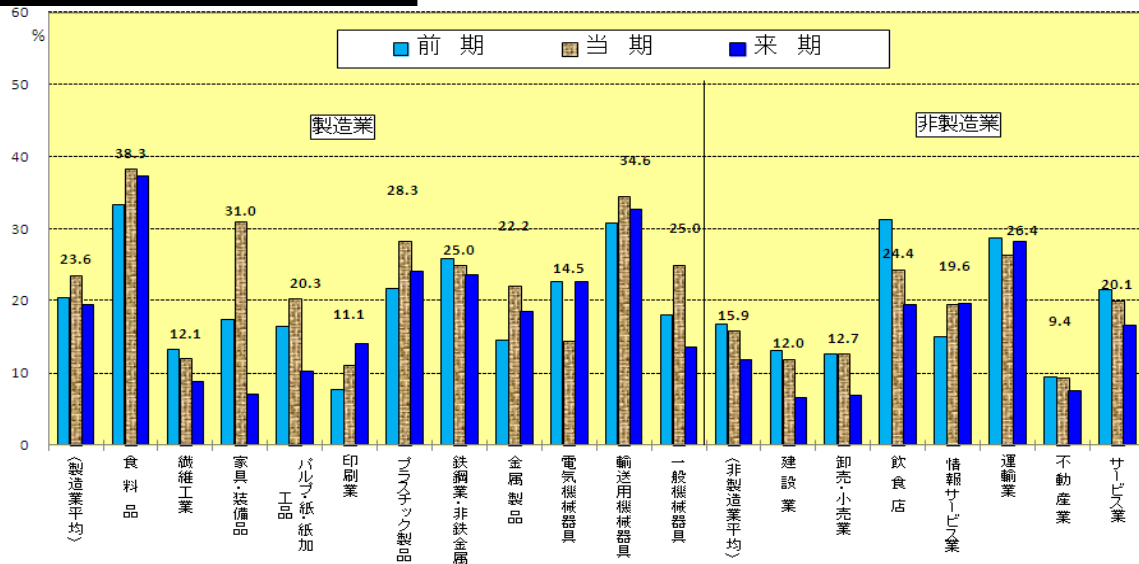
設備投資を予定している企業は、製造業で19.5%、非製造業で11.9%となっている。

製造業、非製造業ともに、当期に比べて実施率は減少する見通しである。

### 設備投資実施率の推移

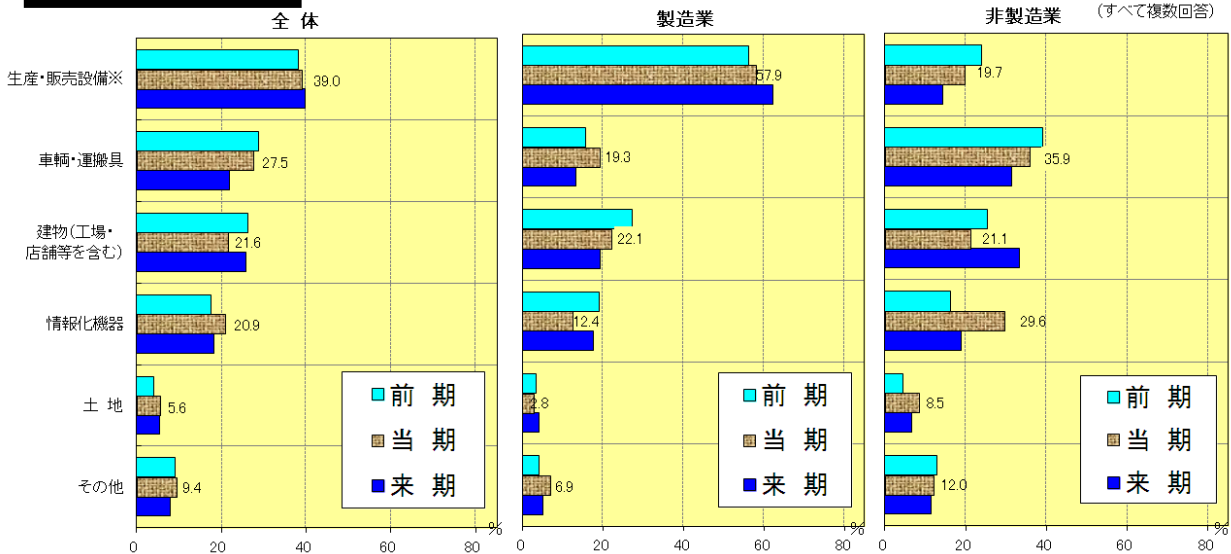


## 業種別・設備投資実施率



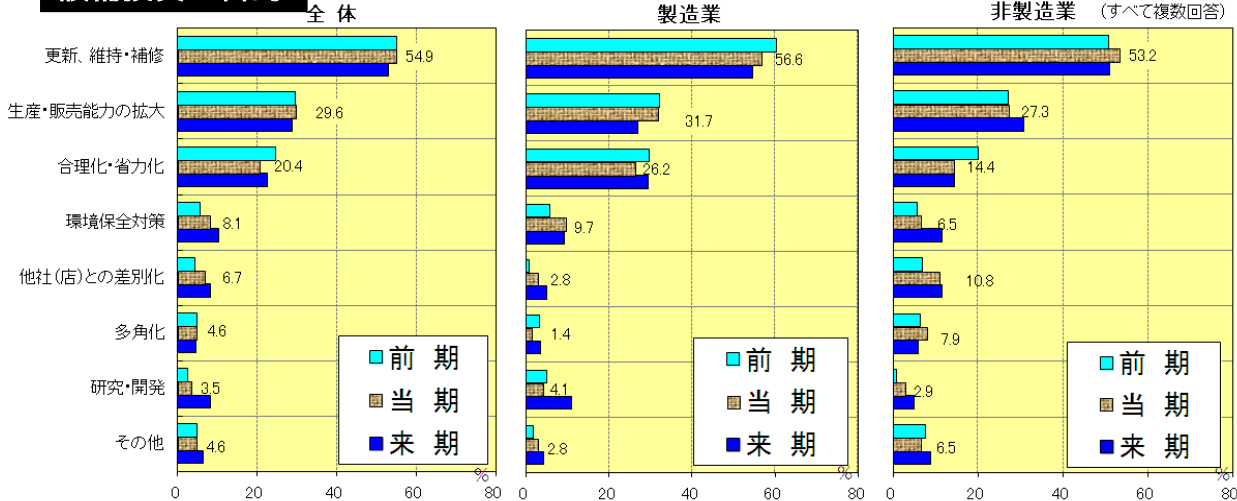
数値は当期の実施率。

## 設備投資の内容



数値は当期の実施率。また、生産・販売設備には、建設業の建設機械を含む。

## 設備投資の目的



数値は当期の実施率。